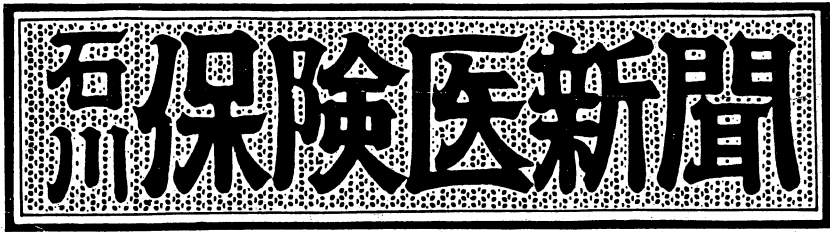


《主な記事》

- 3頁 症例検討会 (県立中央病院)
- 4頁 編集部にて3人の先生入部
- 5頁 高間静子先生の講演会
- 8頁 「お訪ねします」大幸英吉先生の巻



発行所
 石川県保険医協会
 金沢市尾張町1丁目9番11号
 尾張町レジデンス2F
 電話 (0762) 22-5373番
 発行人 後藤田博之
 印刷所 ユーアイ印刷
 (会費月額 3,800円)

老人はいずこへ

福祉施策の整備を無視し
 削減を先ばしする「中間報告」

厚生省保険局では、国民医療総合対策本部・中間報告でも重点課題としている「長期入院の是正」の一環として、国保における長期入院者の家庭復帰促進モデル事業を十月から、十の国保連合会・一連合会当たり四〜五市町村で実施するところが明らかになった。

六十二年度の実施方針は八月十九日付の国保課長通知「長期入院患者の家庭復帰等促進モデル事業の実施について」で示され、具体的には、①老健法に基づき保険医療機関から市町村に

「最終報告」待たずに
 予算を計上

このモデル事業については日本医師会では「長期入院の適正化」という問題は、社会的に重要な問題点を明確にするに際して、今後の受け入れ基盤の整備に資する「是正」がモデル事業とはいえ、本年度予算に計上され、来年度さらに拡大するという厚生省の並々ならぬ決意がうかがえる。

論持

厚生省の国民医療総合対策本部は六月二十六日「中間報告」を発表した。老人医療を中心に、病院を「慢性病院」と「一般病院」に区分、入院医療・長期入院の制限、大学病院の医療の合理化、保険医療機関の病床数の規制、病院給食の見直しなどを重点にした改革を提起している。

具体的には病院ごとに「入院判定委員会」(仮称)を設置し、退院計画を策定する。急性期以外は在宅あるいは老人保健施設などにおいて病状管理を行う。大学病院では外来を紹介患

中間報告

医療費削減に固執

に備えて「良質で効果的な医療サービス」を供給するシステムづくりが基本であると強調しているが、真のねらいは病院経営の合理化促進、患者負担の強化、そして国庫負担の削減、医療費削減に固執している。今後、政策を見守りつつ、是非は非と、我々医師一人一人が声を高らかに意思表示する必要がある。

《協会会員のための大型年金》

保険医年金

ただ今、募集中!!

募集〆切 10月26日(月)

お問合せは協会事務局まで

TEL (0762) 22-5373

理解に苦しむ
 日医の態度

一方、長期入院患者の事態把握や受け入れ基盤の整備に関する調査・研究を主眼にするといえ、このモデル事業を了承した日本医師会の態度は問題である。老人の「社会的入院」の原因は貧困な福祉施策であり、家庭復帰を可能にするための条件整備なくして、老人の病院締め出しが横行すれば、どのような結果を招くであろうか。

医心凡話

◆今年の夏は極端に短かったように思う。短いというより四季の一つが飛んで梅雨からすぐ秋に入ってしまった感じがする。

◆庭に、かなり老木の白木蘭があり、毎年、梅雨明け頃その根本に直径一センチぐらいの穴が数多く見られると同時に回りの灌木に蟬の抜け殻が丁度、大人の背丈のところで、しがみ付いている。その後はもう一斉に蟬時雨となるのだが、今夏はその騒音も少なく、拍子抜けだった。

◆先日、癌患者のパーティーがモンブラン登頂に成功したとのニュースに沸いた。参加した人々の勇気と決断に敬意を表したいと共に、これを支えた医師たちの人知れない苦労もねぎらいたいものだ。日頃、医療費削減ばかり考えている厚生省も時には、この両者たちの表彰ぐらい考慮してみてもどうだろうか。

◆B型肝炎の院内感染で死亡した医師には、ただお気の毒と言う外ない。国と厚生省は、この件に関しては対応が早かったが、これも我が身可愛さ、自分の管轄内でのワクチン接種を決定しただけで、公務員以外数十万の医療従事者は勝手にしろでは余りに片手落ちと言えぬものだ。

◆一回の接種で数万円のワクチンを全て自己負担しなければならぬとしたら、今の私的医療機関ではかなりの重荷となることは必定的である。防疫は国家的事業と心得るべし。

第12回歯科医科隣接医学懇談会

【テーマ】臨床家に必要なB型肝炎の知識

— 感染予防を中心として —

【講師】

金沢大学医学部第一内科助教授
小林 健一 先生

日時 九月二十六日(土) 午後7時~9時

場所 金沢都ホテル 5F 能登の間

◆参加費 会員無料、非会員二、〇〇〇円

◆参加申込 お電話にて協会まで

◆協賛 株式会社 ミドリ十字金沢支店

主催 石川県保険医協会

☎ 0762-22-5373



8月度歯科部会報告

雑談の中から
名案つぎつぎ

都ホテルを会場にして開催
されます。

◆第三回「スタッフ講習会」
JAL接遇講座インスト
ラクターの下平久美子さん
を講師に迎え、教育会館に
て九月二十日に開催されま
す。定員が一〇〇名で、歯
科医院のスタッフ対象です。
参加費は一人五〇〇円。

◆保団連医療研究集会への
抄録の確認
演題抄録提出の締め切り
を九月末日に控え、急ピツ
チで進行中です。

◆第十二回「歯科医科隣
接医学懇談会」
九月二十六日に開催される
ことになりました。講師に
金大第一内科助教授の小林
健一先生をお迎えし、金沢

八月の歯科部会では、つ
ぎの活動が具体化しました。
要望が出されていましたが、
歯科部会で協議した結果、
八月の歯科部会では、つぎ
の活動が具体化しました。

となのですが、雑談が少な
いと寂しい気がします。だ
いたい歯科部会は雑談の中
からアイデアがひらめく
のですから。参加人数がも
う少し多いほうが良いのか
も。部員をふやし予算をふ
やし、優れた活動を行うた
め全力を尽くすことを誓い
ます。

歯科部会は会員のニーズ
が即、反映する楽しいとこ
ろです。会員の皆様、一緒
に研究会や飲み会を企画し
ませんか。ご希望の方は保
険医協会までご連絡を。
(歯科部)

保険医年金

- 連続9%台の高配当を確保
- 1人30口まで加入できるワイドな制度
- 自由に選べる10年・20年年金受給
- 口数ごとに自由に解約可能
- 税金面でも断然有利



断然有利に
低金利時代に

いま話題の
保険医年金

実績が示す高配当、今年も 9.13% 昭和62年 5月30日

保険医年金(無期限)	年 9.13%
国債(10年)	年 4.10%
公社債投信(無期限)	年 4.50%
信託ビッグ(5年)	年 4.76%
ワイド(5年)	年 4.38%
貸付信託(5年)	年 4.32%
金銭信託(5年)	年 3.51%
郵便定額貯金(3年)	年 3.81%
定期預金(2年)	年 3.64%

利息くらべ

保険医年金制度についてのお問
いあわせは、協会事務局・大川
(TEL 0762-22-5373)まで

病診連携に役立つ症例検討会 シリーズ②

野々市、松任からも多数参加 県立中央病院で症例検討

実地医科にすぐに役立つ研究会として行われてきた『これからの開業医シリーズ』講演会。今年は少し趣向を変えて、「病診連携に役立つ症例検討会」をテーマにシリーズ開催しています。

ここに紹介するのは七月十八日にシリーズ二回目として、県立中央病院内科の協力を得て開かれたものです。

意義大きい 協会の研究会

近年、医師の生涯教育を充実させるため、種々の試みがなされているが、その



県中内科部長の
三輪梅夫先生

中でも体験学習はその核心をなすものと思われる。病診連携をすすめる上で、協会が前回に引き続き、このような学習会を開催したことの意義は大きい。以下簡単に当日の模様を紹介したい。

当日は土曜日にもかかわらず、金沢地区ばかりでなく、野々市、松任地区から



膠原病についての講演も行われた。
(7月18日、石川県立中央病院会議室)

第七回理事会は八月十八日(火)午後七時半より行われた。平素理事会が定時をはるかにオーバーするので、今回より午後十時の終了時間を厳守された。その旨を出席理事に説明し、協力を願った。主なテーマをあげると、

理事会点描

“中間報告”などを 時間をかけて討議

□ 8月18日 □

組織拡大
総会後、医科二名、歯科八名と十名増加。現在、会員総数五四五名、残りあと二十名増が目標。

地区会員懇談会の計画
小松能美地区、加賀地区、輪島地区で開催予定。協会財政三ヶ月の収支

請求が一年以上遅れた場合、給付が受けられなくなることもあり。休業したら、すみやかに協会

理事会后半では国民医療総合対策本部の中間答申と保団連の「開業医宣言案」に関し協議したが時間不足のため次回理事會へ持越しとなった。

(林)

収入の部二九・八%、支出の部二五・四%と執行実績は良好。休業保障の請求

へ連絡することが肝要。第三回審査対策研究会の開催計画
十一月十四日、「審査・監査の法的问题点」講師池永満先生(弁護士)
。病院マップ(一九八七年度版)の発行
。老人福祉施設見学会の企画
九月十三日(日)
見学施設 石川県八田ホーム

も多数の会員が参加された。能登先生(協会学術・保険部部長)、三輪先生(県立中央病院内科部長)の挨拶の後、主治医より症例呈示があり検討に移ったが、大変興味ある症例と思われるので紙上紹介する。

症例は五十八歳女性。主訴は発熱、皮膚紅斑、全身倦怠感。既往歴に小児喘息、五十三歳時急性肝炎に罹患。現病歴として、五十七歳よりレーノー現象・口唇粘膜炎の難治性潰瘍を認め、六十一年八月、三十九度の発熱にて近医の治療を受けるも解熱せず、同院内科に紹介された。

入院時顔貌は苦悶状で、口唇潰瘍、四肢・軀幹に紅斑が散在、手背に浮腫(+)。検査成績として、血沈亢進、CRP強陽性、抗核抗体、抗ENA抗体(リボヌクレアーゼ感受性)強陽性を呈した。入院後も三十九度以上の弛張熱が持続し、

抗生物質に反応せず、右腹部痛、嘔吐が増強、腹水もみとめられるに至り、開腹手術。摘出標本より、非化膿性腹膜炎・子宮筋炎の診断が得られた。術後、無菌性髄膜炎を発生し、さらにDIC、心嚢液貯留、間質性肺炎を併発し、再度の高熱を認め、臨床経過、検査所見より、混合性結合織病(mixed connective tissue disease MCTD)と考えられるに至り、メチルプレドニゾロンのパルス療法にて、臨床症状も改善し、救命し得た。

その後、質疑応答に移り講師の先生より、本症例の問題点、MCTDの類縁疾患(膠原病)について講演を賜わり、二時間半にわたって充実した学習を受けることが出来た。

今後、さらに多くの会員が参加され、発展することを願って稿を終る。

(金沢市・N)

第八回老後問題を考える石川のつどい

●メインテーマ 国際居住年にあたって
住まいと健康を考える

●とき 9月23日(祝) AM10時～PM4時

●ところ 石川県社会福祉会館

●参加費 五〇〇円 (資料代・運営費)

《全体会》 (AM10時～正午) 四階中ホール

特別講演

「高齢化社会における家族と住まい」

講師 金沢大学教育学部教授・住居学
地井昭夫先生

《分科会》 (PM1時～PM4時)

第3分科会	第2分科会	第1分科会	テーマ	助言者	会場
老後と住まい	老人の療養施設を 考える	在宅医療と居住条件	高齢者が在宅で療養できる条件には住居と介護者の問題が上げられます。県内の住まいの現状がどうなっているのか、在宅療養にはどのような居住環境が望ましいのか、住居活動や訪問看護、入浴サービス等を通して住まいに関する様々な問題点について話し合いたいと思います。	鏡森定信 (富山医科薬科大学教授)	三階第二会議室
	もし、自らが病気になるたとき、安心して療養できる病院、施設はどのようなものかについて考えます。お世話料、食料、部屋代等の費用の問題、さらに個人のプライバシーが守られるスペースの問題を含め、利用者の立場にたって皆さんと共に考えてみたいと思います。			遠藤 聡 (地域振興研究所)	三階第一会議室
				地井昭夫 (金沢大学教育学部教授)	
				金川克子 (金沢大学医療技術短期大学部看護学科教授)	三階F会議室

主催 老後問題を考える石川のつどい

代表世話人 梶井幸代 (北陸婦人問題研究所長)
連絡先 石川県保険医協会 ☎三三三二一五三七三

新聞編集・文化行事企画に

3人のベテラン先生入る

学術・総務の経験生かし 責を果したい

機関紙・文化部長として、新たに三人の先生に加わっていただけることになりました。当紙の編集のほか文化的行事の企画など幅広く活躍頂き、今後ますます充実した活動が展開されるものと、部員一同期待しています。三人の先生方に、抱負を語って頂きましたので紹介します。



林 茂先生

今年の新年会の席上、機関紙部員になれとの勧誘を受け、しばし躊躇をしたあげく、説得に負けてお引き受けしました。

出来るだけ早く機関紙部員に出席せよとの要請にもかかわらず、やむを得ない事情があり、入部が今年度からとなり申しわけなく思っております。

私ごときが機関紙部員になったところで、たいしてお役に立つものではないでしょうが、これまで学術部と総務部を担当して来た経験を生かし、いささかなり

協会“特注”の
団体生命保険

グループ保険
本年度配当
35.6%に
確定

【お知らせ】

グループ保険加入者には、上記配当金を10月5日付けにて、各加入者の銀行口座に振込みします。

〈会・員・投・稿〉

非核運動は 医の倫理なり

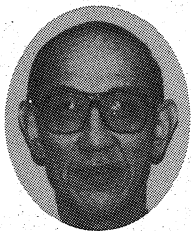
松任市 登谷 栄 作



≡ 全体会で発言する登谷先生 (8月1日、2日 東京)

医の倫理と問われれば一般に保険の不正、水増請求や乱診乱療を戒める言葉と受けとめられよう。しかし、これらは医師としては勿論のこと、人間として論ずるに足らぬ特種人類を対象にした言葉にすぎない。されば真の医の倫理とは何か考えてみよう。今、最も切実な問題の一つは、I P P N W (核戦争反対、核兵器廃絶を求める医師と医学者の集い)の使命である。これは決してイデオロギーや思想信条にとらわれるものではなく、さらに国境を越えて真に人類愛を世界平和のために成さねばならぬ医師としての草の根運動である。被爆者に対し医師として何が出来る。そこには何も医療手段がない悲しい現状である。ただ一つ出来るといえば非核運動あるのみと私は確信する。核の均衡が平和を維持するという論理は全くナンセンスといわざるをえない。幸い今米ソ間でINF (中距離核戦力) が廃絶に向い歩みよる兆しが見えてきたことは喜ばしい限りである。かつて天然痘撲滅のために使われた金が今、地球上で造られている軍事産業費の三時間分に相当するとのことである。すべてが惑星の一つである地球上の出来事ではないか。地球こそ人類にとってただ一つの住家である。子供たちの未来のために、人間の命と運命のためにも医師は情熱と英知と勇気をもって政治に訴えようではないか。これこそI P P N Wの使命であり、これぞまさしく医の倫理ではなからうか。

長生きの秘訣

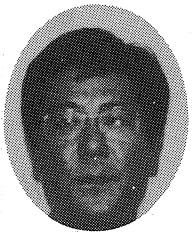


安藤良一先生

ともその責を果したいと思えます。機関紙部には、協会設立時から活躍された、そう出来るだけ頑張ります。

長生きの秘訣として達摩大師の論に、「三種の安楽の法門あり。一には事中途緩なり。二には唯浄なり。三には唯善なり」とある。(第一には無理せずゆっく

キス釣りに思うー 情報をすばやく



織部芳弘先生

先日、能登内浦の海にボートを浮かべ、久方振りのキス釣りで一日を過ごした。

色々な情報が手許にとどく。潮の流れ、砂、岩、海藻など海底の状況、様々な魚の

キス釣りの醍醐味は、何といてもブルブルとくるキス独特のアタリの感触でしょう。仕掛を海へ投げ込み、そして静かにリールを巻くと、その間、海底に伸びた一本の糸を通して

発する特有の魚信、等々。それらの中より、あのキス独自の身を振るわずようなアタリをキャッチした時の爽やかさは格別のもので、現代は情報化時代と言われ、実際多くのメディアより様々な情報が発信され、世に氾濫している。また、ハイテク化の波のもと、社会の変動のスピードもどんどん加速してきている。刻々と変化する多量の情報に余程うまく整理・選択しないと、その真価を発揮できないでしょう。交錯して飛びかう多量のニュースの中より、「最新の」「確かな」「役立つ」情報を素早く釣りあげたいものです。

私は病院に勤めて十二年に
なりますが、毎日患者さん



と接して対話が如何に
重要か身にしみて感じて
います。受付の印象一つで病
院の雰囲気かわかるのだか
ら、病院の顔だから...な
ど常に心に誓い毎日患者さ
んと接しているつもりです
が、私も人間(?)、つい身体
の都合の悪いときは、態度

七尾会場

眼から「うるさ」が... 充実の二時間

岩本友子

県下八会場で行われている従業員講習会は、各会
場とも定員を上回り、急視会場を大ホールなどに変
更したところもあるほどの盛況ぶり。講師の高間静
子先生(金沢大学医療短期大学看護学助教授)
の実践的で分かりやすい話は、参加者の日常の仕事
にダイレクトに結び付くものばかりで、熱心に聞き
入る姿が目立ちました。
七尾および羽咋会場の参加者から感想文が届きま
したので紹介します。

に出してしまうこともありま
す。先生のお話の中にあり
ましたように、「自分にし
て欲しいことを他人にもし
てあげるように。そうすれ
ば他人の痛みも苦しみをわ
かるのではないか」という
お言葉は私も同感です。毎
日のように来る患者さんに
対してはもちろん親切にし
てさしあげることは言うま
でもなく、新患で苦しさや
痛みを訴える方には、診察
までに少しでもやわらぐよ
うに話を聞いてあげるとか、
背中をさすってあげるとか、
小さい子供さんはあやして

しばらく看護婦の職務を
離れておりましたが、少し
の不安を抱いて当院に勤務
して二十日目、幸いにして
高間静子先生の講演を聞く
機会に恵まれました。「や
さしい心遣いと温かい思い
やり」を心にしてきたけれ
ど、患者さんの意に沿うよ
うに対応していたらどうか、
何げなく使っている言葉の

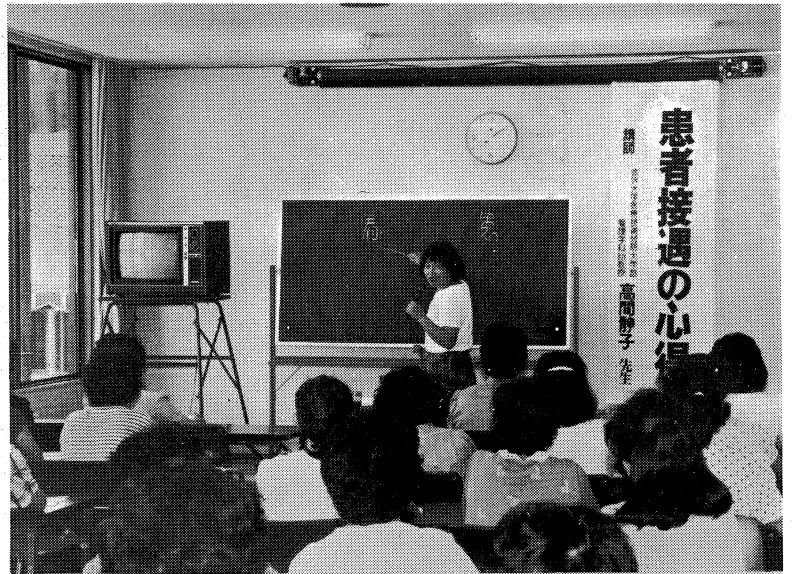


講師の高間静子先生

生命を扱う仕事をしてい
るから、もてなし(接遇)
が問われる、とおっしゃっ
たことを心にしっかり置い
て、これから先、心の礼節
を忘れないで患者さんに対
応してゆきたいと思えます。
ありがとうございます。
(山下産婦人科クリニック勤務)

県下8会場での従業員講習会

日常の仕事にすぐ役立つと 参加者の喜びの声



患者接遇の心得
講師 高間静子先生

あげるといった、私にでき
ることしかしてあげられませ
ん。でも、そんな患者さん
たちから「この間はどうぞも
ありがとう。楽になりました
」と言って再び来院され
ると大変嬉しいものです。
先生や看護婦さんの少しで
も手助けが出来たらいいな
あと思うし、患者さんに「
やっぱりこの病院で診て
もらってよかったです」と喜ば
れるように今日も頑張った

羽咋会場

命を扱う仕事だから 礼節を大切にしたい

山崎 真知子



中に相手の感情を傷つけて
いなかったらどうかと思
いながら、高間先生のユーモ
アを交えながらの講演に聞
き入りました。
「自分がそんな立場だっ
たら、自分がそうだったら
...と常に考えて相手に接
しない」と「訴えを訴えら
れないうちに気付き、相手
の苦情に答えてあげなさい」
「患者さんからいろんな話
をされる看護婦になりな
さい」と言われた言葉が心に
残ります。そして私もそう
いう人に、そういう看護婦
になってゆかねばと思いま
す。

コ・メディカルのための

第2回

石川県糖尿病懇話会

《開催要項》

- ところ 10月18日(日)
AM10時~PM4時半
- ところ 石川県婦人会館 2階 大会議室
- 参加費 3,000円 (受講料および昼食代)
- 定員 100名

〈申し込み〉 お電話にて協会まで
(定員に達し次第締切ります)

主催 石川県保険医協会
☎ 0762 (22) 5373

- ①糖尿病とはどんな病気
金沢大学第一内科講師 能登 裕 先生
 - ②糖尿病の治療法
金沢医療短期大学教授 白倉 教臣 先生
 - ③昼食・糖尿病食の試食と解説
 - ④食事指導の実際と問題点
金沢医科大学病院栄養士 厚見 智子 先生
 - ⑤日常生活管理の実際
石川県立中央病院看護婦 浜野 祥子 先生
 - ⑥糖尿病合併症の予防と治療
能登総合病院副院長 村本 信吾 先生
 - ⑦総合質疑・全体討論
- 〔企画・司会〕
協会・学術保険部 河北中央病院院長 早川 浩之 先生
能登内科医院院長 能登 康夫 先生

わが町の
医療福祉を語る

第7回

石川県最南端の村
白峰村を訪ねて

(白峰村住民課長に
インタビュー)



住民課長の永吉 晃さんと、保健婦の杉田深雪さん。

休養村(緑の村)などがあり、地域の自然環境を生かして「緑の村」周辺の整備に年々力を入れていきます。私はこれまで建設行政や社会教育に携わり、この四月に住民課に来たばかりですが、「村づくり」は「人づくり」であり、「人づくり」は「健康づくり」からと考えていますので、あまり違和感はありません。

30年前から
開設
村立診療所は

村立診療所は三十年前から開設されており、以前は常勤の先生がいましたが、現在は県からの派遣として自治医大卒の先生に一年交代で来てもらっています。ただし、当直は週二回、先生の熱意で頂いていますが、先生が不在のときはよく保健婦や看護婦の自宅に「発熱」や「はきけ」などの問合せがあり、住民の夜間救急時の医療不安は残っています。



楽しそうにリハビリ指導をうける村民。

「村づくり」は
「健康づくり」から

〔永吉住民課長談〕
白峰村は石川県の最南端に位置しているため、建設省や営林署、土木事務所など

ど官公庁の出張所が設けられており、地方行政の立場からみるとやりやすいところ。集落も白峰と桑島

の二カ所だけであり、雪深く、かつては交通困難な地域ゆえ、住民同士の連帯感・助け合いが強く感じられます。人口は手取川ダム建設のため桑島が水没した時期に著しく減少しましたが、現在は一、三五〇人前後で横ばいになっています。

検診は
県内で
先駆

村の行政は単に「手続き行政」だけでなく、直接現場の仕事に関わることが多く、住民に密着した仕事ができる利点があります。主な観光産業は白峰高原スキー場、白峰温泉、自然

白峰村の住民検診は昭和三十八年から県内でも先駆的に行っています。

今後の課題は
大腸がんの
撲滅

老人保健法に基づく保健事業が昭和五十八年から始まりましたが、白峰村では二十年以上前から「総合健診」をより詳しい検査項目ですすめており、住民の間に「検診」が定着してい

ることに大きな誇りを持っています。一方、この五年間で「大腸がん」による死亡が十六人と異常に高くなっており、これからの課題になっています。

頼りになる
地元出身の
保健婦

保健婦の杉田さんは着任二年目で、これまでは前任の保健婦(織田光子さん)が築かれてきた歩みをふまえることで手一杯の様子ですが、地元桑島の出身であり、生まれ育った土地の人たちの健康づくりのため、頼りにされる保健婦になりたいと毎日張り切っています。

肝臓の超音波断層法 4回シリーズ (その3)

- * テーマ • 腫瘍性病変
• びまん性病変
- * 講師 亀山富明先生 (金大放射線科助手)
- * と き 10月31日(土) PM7時~9時
- * と ころ 金沢勤労者プラザ3F
- * お申し込み お電話にて協会まで
☎ 0762-22-5373

審査対策講演会

- ◎ テーマ 審査・監査の法的問題点
- ◎ 講師 池永満先生
(九州合同法律事務所・弁護士)
- ◎ と き 11月14日(土) PM7時~9時
- ◎ と ころ 金沢都ホテル 5F
- ◎ お申し込み お電話にて協会まで

医療・福祉をささぐ人たち

⑦

社会福祉法人 金沢聖霊総合病院

《シスター西村さん》



事業を通して人々に神の愛を知らせますとシスター西村さん。

今月の「医療・福祉を支える人たち」は社会福祉法人聖霊病院のシスターをご紹介します。
「聖霊の力を受けて、献身的に地域の医療・福祉を支えてきた聖霊病院の、シスター西村（西村千鶴子）さんにインタビューさせていただきました。

三つの児童施設と総合病院に献身

— 最初に聖霊病院の創設について簡単にお聞かせ頂きたいのですが。
「病院としては創立が大正三年ですから、七十数年の歴史をもっています。ドイツ人の宣教師ヨゼフ・ライネルス氏がこの地方の医療事情の乏しいことに着眼し、国内あるいは海外からも寄付金を募り、現在地に三十床の病院を創設したの

が、この病院の始まりでした。現在は二百三十床の総合病院として地域医療の一端を担っています」
— 聖霊病院と併設されている児童福祉施設についてお聞かせ頂けますか。
「聖霊愛児園（養護施設）・聖霊乳児院・聖霊保育所の三つの施設ですが、その昔、長期療養を必要とする家庭の子女をお預かりしたのがこの施設の発端です。昭和二十二年に児童福祉法によって三つの施設に分けられ、現在それぞれの目的に沿って運営されています」

目的は 人々の幸せに力を尽くすこと

— シスター西村さんは日常、どんなお仕事をなさっておられるのですか。
「法人内事業の四施設の動きをみる事です。日常、執務において理事長の代行の運営機関ですから、その手足となって働くことが私



大阪保険医協会編でB6判二百四十六頁。「戦場の医者たち」。「医者たちの八月十五日」。「抑留・復員」。「廃墟のなかから」。「十六年戦争と軍医」の五章にわたり六十七人が執筆しています。

戦争は破壊と殺戮以外のなにものでもない。戦争は国家利己主義によって起こる。何の罪もない人間同志がなげに殺し合わねばならないのか。不戦の誓い。非核の願い。阪大出身軍医はニューギニア三分の一、フィリピン二分の一死亡。孤島化したパラオでは食料事情が悪く、毎月千名の兵が病死していった。畑にある芋を取ったら小銃で打った。最後の憲兵軍曹はか数名が日本軍の遺留兵、

の仕事といえます」

— カトリックのお立場での、これら四施設の運営方針は普通の病院や施設のそれとは幾分違うと思うのですが、そのあたりについてお話しください。
「病院も児童福祉施設も、人々の幸せのために力を尽くしていくのが本来の目的です。これは、この事業の母体となる私もカトリック修道会の使命で、事業を通して人々に神の愛を知らせます。具体的には、傷つき病む人々を回復へ導き、

残留兵を醜辱の辱しめを受けぬように軍刀で処理することが役目だった。敗戦時二十七万の開拓農民の内三分の一以上が戦死、自決、病氣、飢寒のために死亡した。原爆では長崎医大学生九百人中五百三十五人、患者約三百人中二百人が死亡。この中であって中国人医師の国境をこえた人類愛もありましたが、「医は愛なり」と多くの医療従事者が黙々と活躍したことが光っています。

ここに手記を寄せた人々の非情悲惨な状況は筆舌につくしがたい。書き得ないことも多くあったでしょう。ともあれ、この非常の事実に基づく記録をわれわれは永遠に残し、いつまでも後世の人々に語り継がねばならない。そして永遠の平和を祈念したいものであります。

(平松昌司)

●大阪府保険医協会編●

医者たちの8月15日

発行 清風堂書店
定価 1,400円
〒250円



戦うことを任務とする軍隊のなかにあつて、救命を仕事とする異質の職能者として、常に人の死に際に立ち会ってきた軍医たちが、戦争という巨大な車輪の下から、いま、あらためて平和の尊さを謳いあげる。

発行 清風堂書店出版部
大阪市北区曾根崎2-11-16
☎ 06 (316) 1460
●保険医協会でも申込みを受付けています
☎ 0762 (22) 5373

保団連『住宅環境調査』

NHKで紹介される

保団連がすすめている「住宅環境調査」の様子が9月8日のNHKテレビ「おはようジャーナル」で約50分間にわたって放送されました。この番組は大変良くまとまっており、会内外から大きな反響が保団連、NHKに寄せられています。

当協会では、ビデオ録画（VHS）しておりますので、ご覧になりたい方は、協会事務局までお申し込み下さい。

大幸英吉 先生の巻

大幸病院院長
加賀市医師会長
加賀市鷹匠町29



先生後の棚には古九谷が並ぶ。

今月は地区医師会長シリーズの最後になります。昨年十一月からこれまで、お一人を除いて十名の各地区医師会長のご好意により、好評のうちに取材をすめることが出来ました。紙上で心からお礼申し上げます。

シリーズ最後を飾っていただきますのは、加賀市医師会長の**大幸英吉先生**です。

胃の手術

通算一万二千人

「本日はお忙しいところ時間を頂ましてありがとうございます。加賀市に大幸先生あり」とのお噂はかねがねお聞きしていたのですが、お会い出来てたいへん光栄です。

「いやいや、わたしも午後の予定を変更して、半分楽しみに待ってあったんで

すよ。まあ気楽にやりましょうや」
「先生は現在もばりばり手術をされているとのことですが、お年をお聞きしてもよろしいでしょうか。」
「わたしは明治四十一年四月十四日生まれですから来年で八十歳になります。ただど年なんて関係ないで

すな。今でも午前中は診察して、午後は全部手術に当たりますから」
「先生が開業されたのはいつですか。」
「開業は昭和二十五年の五月。ほんとはずっと大学にいたつもりだったんですが、大学や大病院では自分のやりたいことが出来ません。開業すれば束縛されること何にもないわけですから。資金はゼロ、一ヶ月七、〇〇〇円の家賃で看護婦二人、医者二人で始めたわけですよ。医者には給料はおりません。見習いでしたから」
「当時はそれでよかったんですか。」
「あの頃は戦争に負けて大混乱、みんな食べるだけで精一杯。当時、盲腸の手術を一、〇〇〇円でやりましたが、払えん人もたくさん

いた時代です。みんな苦勞してやってきたんです」
「診療上の工夫というものは、新しいことをすると共にムダを無くすということですね。それから従業員の教育なんていうものは必要なし。こんなものはわざわざ教育するものではなく、自分から模範を示せばいい。自分が一生懸命働けば従業員も一生懸命働くもんです。人間というものは、やれやれと言っても、なかなかやらんもんで、逆に腹を立てる。そんな役にたたん教育する暇があったら、自分で一生懸命、病院の掃除でも何でも仕事をすればいい。そうすれば従業員も必ず良く仕事をしようになるもんです」

「診察上の工夫というものは、新しいことをすると共にムダを無くすということですね。それから従業員の教育なんていうものは必要なし。こんなものはわざわざ教育するものではなく、自分から模範を示せばいい。自分が一生懸命働けば従業員も一生懸命働くもんです。人間というものは、やれやれと言っても、なかなかやらんもんで、逆に腹を立てる。そんな役にたたん教育する暇があったら、自分で一生懸命、病院の掃除でも何でも仕事をすればいい。そうすれば従業員も必ず良く仕事をしようになるもんです」

医者は 一生勉強

「先生は長い間、加賀市の医師会長を務められていますが、医師会長としての日常の活動や抱負をお話ください。」
「医師会の仕事というのは会員の親睦を図ることです。そのつぎは対外折衝。そのつぎが地域医療対策です。わたしは医師会というところは、親睦団体だと思っと思っています。學術団体は学会です。日本医学会が學術団体だと思っています」
「先生の書かれた投稿記事などを時々読ませて頂いています。ご多忙の中で

「先生は長い間、加賀市の医師会長を務められていますが、医師会長としての日常の活動や抱負をお話ください。」
「医師会の仕事というのは会員の親睦を図ることです。そのつぎは対外折衝。そのつぎが地域医療対策です。わたしは医師会というところは、親睦団体だと思っと思っています。學術団体は学会です。日本医学会が學術団体だと思っています」
「先生の書かれた投稿記事などを時々読ませて頂いています。ご多忙の中で

「先生は長い間、加賀市の医師会長を務められていますが、医師会長としての日常の活動や抱負をお話ください。」
「医師会の仕事というのは会員の親睦を図ることです。そのつぎは対外折衝。そのつぎが地域医療対策です。わたしは医師会というところは、親睦団体だと思っと思っています。學術団体は学会です。日本医学会が學術団体だと思っています」
「先生の書かれた投稿記事などを時々読ませて頂いています。ご多忙の中で

「先生は長い間、加賀市の医師会長を務められていますが、医師会長としての日常の活動や抱負をお話ください。」
「医師会の仕事というのは会員の親睦を図ることです。そのつぎは対外折衝。そのつぎが地域医療対策です。わたしは医師会というところは、親睦団体だと思っと思っています。學術団体は学会です。日本医学会が學術団体だと思っています」
「先生の書かれた投稿記事などを時々読ませて頂いています。ご多忙の中で

「先生は長い間、加賀市の医師会長を務められていますが、医師会長としての日常の活動や抱負をお話ください。」
「医師会の仕事というのは会員の親睦を図ることです。そのつぎは対外折衝。そのつぎが地域医療対策です。わたしは医師会というところは、親睦団体だと思っと思っています。學術団体は学会です。日本医学会が學術団体だと思っています」
「先生の書かれた投稿記事などを時々読ませて頂いています。ご多忙の中で

「先生は長い間、加賀市の医師会長を務められていますが、医師会長としての日常の活動や抱負をお話ください。」
「医師会の仕事というのは会員の親睦を図ることです。そのつぎは対外折衝。そのつぎが地域医療対策です。わたしは医師会というところは、親睦団体だと思っと思っています。學術団体は学会です。日本医学会が學術団体だと思っています」
「先生の書かれた投稿記事などを時々読ませて頂いています。ご多忙の中で

「先生は長い間、加賀市の医師会長を務められていますが、医師会長としての日常の活動や抱負をお話ください。」
「医師会の仕事というのは会員の親睦を図ることです。そのつぎは対外折衝。そのつぎが地域医療対策です。わたしは医師会というところは、親睦団体だと思っと思っています。學術団体は学会です。日本医学会が學術団体だと思っています」
「先生の書かれた投稿記事などを時々読ませて頂いています。ご多忙の中で

医者も場所も 少なすぎる

「先生は長い間、加賀市の医師会長を務められていますが、医師会長としての日常の活動や抱負をお話ください。」
「医師会の仕事というのは会員の親睦を図ることです。そのつぎは対外折衝。そのつぎが地域医療対策です。わたしは医師会というところは、親睦団体だと思っと思っています。學術団体は学会です。日本医学会が學術団体だと思っています」
「先生の書かれた投稿記事などを時々読ませて頂いています。ご多忙の中で

「先生は長い間、加賀市の医師会長を務められていますが、医師会長としての日常の活動や抱負をお話ください。」
「医師会の仕事というのは会員の親睦を図ることです。そのつぎは対外折衝。そのつぎが地域医療対策です。わたしは医師会というところは、親睦団体だと思っと思っています。學術団体は学会です。日本医学会が學術団体だと思っています」
「先生の書かれた投稿記事などを時々読ませて頂いています。ご多忙の中で

「先生は長い間、加賀市の医師会長を務められていますが、医師会長としての日常の活動や抱負をお話ください。」
「医師会の仕事というのは会員の親睦を図ることです。そのつぎは対外折衝。そのつぎが地域医療対策です。わたしは医師会というところは、親睦団体だと思っと思っています。學術団体は学会です。日本医学会が學術団体だと思っています」
「先生の書かれた投稿記事などを時々読ませて頂いています。ご多忙の中で

「先生は長い間、加賀市の医師会長を務められていますが、医師会長としての日常の活動や抱負をお話ください。」
「医師会の仕事というのは会員の親睦を図ることです。そのつぎは対外折衝。そのつぎが地域医療対策です。わたしは医師会というところは、親睦団体だと思っと思っています。學術団体は学会です。日本医学会が學術団体だと思っています」
「先生の書かれた投稿記事などを時々読ませて頂いています。ご多忙の中で

「先生は長い間、加賀市の医師会長を務められていますが、医師会長としての日常の活動や抱負をお話ください。」
「医師会の仕事というのは会員の親睦を図ることです。そのつぎは対外折衝。そのつぎが地域医療対策です。わたしは医師会というところは、親睦団体だと思っと思っています。學術団体は学会です。日本医学会が學術団体だと思っています」
「先生の書かれた投稿記事などを時々読ませて頂いています。ご多忙の中で

「先生は長い間、加賀市の医師会長を務められていますが、医師会長としての日常の活動や抱負をお話ください。」
「医師会の仕事というのは会員の親睦を図ることです。そのつぎは対外折衝。そのつぎが地域医療対策です。わたしは医師会というところは、親睦団体だと思っと思っています。學術団体は学会です。日本医学会が學術団体だと思っています」
「先生の書かれた投稿記事などを時々読ませて頂いています。ご多忙の中で

1987年 石川県保険医協会

ゴルフ大会

定員まで 余裕があります

—スタート時間を午前10時に訂正します—

- ◆とき 10月4日(日) 午前10時スタート
- ◆ところ 金沢ゴルフクラブ
- ◆参加費 3,000円(プレー代は各自負担)

☆お申し込みは9月25日まで
☎(0762) 22-5373

「健康法は自然を愛するということ、自動車はよくして歩くこと、冷暖房も出

「健康法は自然を愛するということ、自動車はよくして歩くこと、冷暖房も出

(保険医協会取材班)